

第 61 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬	(株)	ミカルデイス	中外製薬	(株)	アバスチン/タルセバ
第一三共	(株)	ネキシウム	大日本住友製薬	(株)	アイミクス
エーザイ	(株)	アリセプト	(株) ジェイ・エム・エス		
興和	(株)	リバロ	大塚製薬	(株)	エルカルチン
大塚製薬工場	(株)	ラコール	シーメンス・ジャパン	(株)	MAGNETOM Skyra
大鵬薬品工業	(株)	アロキシ	武田薬品工業	(株)	アジルバ
田辺三菱製薬	(株)	レミケード	(株) ツムラ		大建中湯
(株) ヤクルト本社		カンプト			

(ABC 順)

編集委員会

編集長：並 木 温

編集委員：金子弘真 佐地勉 杉山篤

周郷延雄 高橋寛 高橋啓

津熊久幸 瓜田純久 (ABC 順)

編集後記

昨年末、iPS 細胞の研究にかかわる虚偽発表を行った問題や研究費の預け金問題などがメディアによって報道されていた。科学者の不正行為には、データのねつ造や改ざん、論文の盗用、ギフトオーサーシップなどがあるが、残念ながら、そのような不正行為は後を絶たないようである。このような背景もあり、本誌では投稿規定の改定作業に取り組み、利益相反に関する規定を新たに設けた。

データのねつ造、またはその疑いの例として、Mendel GJ のエンドウマメに関する実験研究がしばしば引用される。Mendel は、その実験から Mendel の法則と呼ばれる遺伝形質に関する法則を発見した。言うまでもなく Mendel の法則は正しいのだが、エンドウマメの実験から得られた実測データについて疑義を唱えたのが Fisher RA であった。

Fisher は 20 世紀前半に活躍した統計学者で、数理統計学の基礎を構築し、分散分析や判別分析などを考案したことで知られている。彼によれば、Mendel の実測データに適合度検定を実行すると、 p 値は 0.99995 となるそうである。したがって、実測データの頻度分布（遺伝形質の出現比率）が理論上の頻度分布と一致していると判定されるの

だが、この p 値は不自然なくらい大きな値といえる（実測データの頻度分布と理論上のそれが完全に一致していれば p 値は 1 となる）。この検定結果を受け、Fisher は実測データの頻度分布が理論上の頻度分布に当てはまりすぎていると主張し、「どのようなデータを得ることが望ましいかを熟知していた実験助手によって、Mendel はだまされた可能性がある」と遠回しに記述している。

Fisher による指摘の後、他の研究者によって Mendel の実測データの検証が行われ、Fisher への異議・反論もあり、実際のところ Mendel がデータをねつ造したかどうかはわからないが、“悪事は必ずばれる”としたものである。科学者は確固とした倫理観を持ち、研究に対して真摯に向かっていかねばならないと思う。

(津熊久幸)

訂正

本誌 第 61 巻第 1 号 13-23 頁

丸山博子論文

「Impact of manipulation of energy substrates on sinus nodal rhythm」

以下のとおり訂正致します

20 頁 Fig. 5 A, B, C, D

誤：Oxidation → 正：Oxygenation

21 頁 Fig. 6 A, B

誤：Oxidation → 正：Oxygenation

東邦医学会雑誌 第 61 巻 第 1 号

平成 26 年 1 月 1 日発行

編集兼
発行人 並 木 温〒143-8540 東京都大田区大森西 5 丁目 21 番 16 号
東邦大学医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原 3-46-10

株式会社 杏林舎